

令和 2 年度武蔵野市財政援助出資団体 経営目標

団体名		公益財団法人武蔵野市国際交流協会			
①	指 標 名	外国籍市民支援事業への外国人参加促進			目 標 値 日本語学習の支援、各種相談、留学生の社会参加の促進など外国人の参加者拡大に努める（対前年度増）
	過 去 の 実 績 (単位: 人)	平成29年度 941	平成30年度 1,308	令和元年度 1,559	(過去の実績についての説明) MIA外国人支援事業にかかる外国人の延べ参加者数。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し	
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 新型コロナウイルス感染拡大を受け、外国籍市民支援事業の需要はより高まっている。外国人の支援事業への参加者数を評価指標にすることで、参加者促進に向けた各取組みの評価を行う。			
	取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 日本語学習の支援においては、ZOOMなどを使用したリモートによる教室を開催し、参加者の拡大を図る。また、各種相談事業においても、ZOOMなどリモートによる相談方式を取り入れ、利用者の拡大に努める。留学生の社会参加の促進に向けた「むさしのファミリープログラム」においても、ホストファミリーと相談のうえ、リモートでの交流について検討し、参加者の拡大に取組む。			
②	指 標 名	流動比率の適正化			目 標 値 流動比率300%以下
	過 去 の 実 績 (単位: %)	平成29年度 372.5	平成30年度 321.7	令和元年度 391.2	(過去の実績についての説明) 流動資産(内部留保)の多さが指摘されていた。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(1) 経営健全性の確保	
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 流動比率を下げることで、収支相償面での適正化を図る。			
	取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・収支相償及び内部留保資金の適正化を図るため、予算編成時及び予算執行時の収支バランスのチェックを強化する。			
③	指 標 名	MIA事業へのボランティアの参加促進			目 標 値 ボランティア登録者数の拡大（対前年度増）
	過 去 の 実 績 (単位: 人)	平成29年度 353	平成30年度 364	令和元年度 370	(過去の実績についての説明) 語学ボランティア、日本語交流員、留学生ファミリーの合計
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(6) 組織・職員数等の適正化と目的・目標に向けた効率的運営の推進	
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 MIAの事業は、会員ボランティアが運営を担っており、職員はそのコーディネートを行っている。限られた職員数で充実した事業を行うためには多様な人材の活用が必要となっている。			
	取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・年間の事業やイベントを行う中で、MIAの事業やボランティアの活動内容について紹介し、会員ボランティアの拡充に努める。 ・コロナ禍でイベント等が縮小される中、新規ボランティアの獲得は困難な状況にあるため、実施されるイベントについて語学ボランティアや日本語交流員の参加意欲を高めるための試みとして、ZOOMの取り扱い方などスキルアップ研修を行う。			